



地域連合

# よこはま

2024年 6月18日

第243号

日本労働組合総連合会神奈川県連合会  
横浜地域連合

連絡事務所 〒231-0031 横浜市中区万代町 2-4-7  
横浜市技能文化会館 402号  
TEL. 045-641-6262 FAX. 045-641-6252

発行責任者 秋山 純一  
編集責任者 高橋 直樹・加賀谷 護

## 「第95回かながわ中央メーデー」開催

連帯の力で 平和と人権を守り 誰もが安心して暮らせる新たなステージへ！  
被災地の復旧・復興に向けて みんなで支え合い・助け合おう！



4月27日、第95回かながわ中央メーデーを臨港パークで開催した。(主催・かながわ中央メーデー実行委員会)  
昨年は4年ぶりに臨港パークを会場としたものの、式典のみの開催であったが、今回は子どもエリアやキッチンカーを配置し、家族連れの組合員も楽しめる形とした。横浜地域連合は子どもエリア担当として、横浜ビー・コルセアーズや横浜交通労組との連絡調整にあたり、ミニフリースローゲームとミニバス運行に向けて準備をすすめた。  
当日は早朝から雨が降るあいにくの天候だったが途



ミニフリースローゲーム

中から回復し、家族連れで参加した多くの組合員がミニフリースローゲームやミニバスを楽しんだ。また、横浜地域連合としてタオルー本運動とフードドライブへの寄贈も行った。  
式典に先立ち、ステージ上では高校生平和大使によ



ミニバス

る1万人署名活動アピールが行われ、続いて横浜ビー・コルセアーズチアリーダーズのB-ROSEによるチアパフォーマンスにより会場が大いに盛り上がった。  
メーデー式典では今年も秋山純一横浜地域連合議長が選出され、進行役を務めた。冒頭、主催者を代表し林実行委員長(連合神奈川県長)が挨拶を行った後、神奈川県黒岩知事、横浜市中市長らの来賓にご挨拶をいただいた。また多くの各級議員も出席し、立憲民主党神奈川県連から青柳陽一



B-ROSEのパフォーマンス

郎代表、国民民主党神奈川県連から小粥康弘代表代行をはじめ、各政党代表の方々が挨拶をいただいた。  
メーデー宣言では、「能登半島地震によって多くの命が奪われ、被災地では今もなお避難を余儀なくされている。働く者の団結と支援が、被災地の復旧・復興に大きな力を与える」と確信し、「被災地とつながり復旧・復興を優先させながら『雇用と生活の再建』に向けて、みんなで支え合い・助け合おう。春季生活闘争は、経済も賃金も物価も安定的に



タオル一本運動への寄贈



フードドライブへの寄贈

上昇する経済社会へとステージ転換をはかる正念場との共通認識のもと、多くの組合で高い賃上げを獲得した。企業や地域、日本社会・経済の成長につながる『人への投資』の重要性を意識した各労使における中長期視点を持った粘り強い交渉の結果である。これらの回答を中小組合や組合のない職場へと波及させ、すべての働く者の生活向上につなげなければならない。私たちには職場を、そして社会を『未来』を変えようという力がある。春季生活闘争の賃上げの成果を日本の隅々まで波及させ、『人への投資』を起点とした経済の好循環の実現に向けた取り組みを進めよう。」と呼びかけた。メーデースローガン案採択が秋山副実行委員長によってなされ、林実行委員長が「団結ガンバロー！」で閉会した。会場参加者は4100人だった。





「連合政令指定都市地域協議会 連絡会議」は全国から20の政令指定都市地域協議会が参加し、年に1回開催されている。会議では開催地域首長の特別講演や各地協からの報告を通して、政令指定都市ならではの取り組みや地協の課題を共有し、より充実した活動を構築していくために行われている。

会議は23日14時からホテルモントレエーデルホフ札幌のベルヴェデーレで行われた。開催地協の吉田会長の挨拶、連合北海道の須間会長の来賓挨拶に続いて、札幌市が推進している「性的マイノリティへの理解促進の取り組み」について、札幌市市民文化局市民生活

部男女共同参画室 男女共同参画課の青田課長からの講演があった。札幌市としてのパートナーシップ宣誓制度やLGBTフレンドリー指標制度など、市民一人ひとりが

暮らし、活躍できるような取り組みを紹介された。続いて北海道協議会の測上議員から性的マイノリティ当事者としての視点や、政治への取り組みについての講演が行われた。性的マイノリティとして生きてきた中で感じた様々なこと、そしてそれを政治



北海道議会 測上議員



横浜地域連合参加役員

にどのように活かしていくかなど、誰もが認められ活躍できる社会への思いが語られた。地協報告では、仙台地協から渡部副議長が地協としての取り組みの様子が、また大阪市地協からは徳野事務局長が2025年に開催

# 恒例の「第30回ボウリング大会」開催!

横浜地域連合は「第30回ボウリング大会」を6月1日(土)、ボウリング王国スポーツ八景店において開催した。総勢87名が参加した。



「第30回ボウリング大会」は、秋山議長の主催者挨拶、山口副議長のルール説明の後、秋山議長、立憲民主党の牧山参議院議員、国民民主党の深作19区総支部長の始球式で開会した。ゲームは2ゲームトータルの個人戦で、それぞれのレーンからは歓声や拍手が巻き起こり、大いに盛り上がった大会となった。

表彰式は、ゲーム終了後、そのままレーンのフロアで行ったが、中央労働金庫、こくみん共済COOP神奈川県本部、横浜労福協から多数賞品を提供していただいた



挨拶をする秋山議長



入賞した皆さんと的場代行

順位	氏名	出身組織
優勝	竹下 昭彦 さん	電機連合
準優勝	鹿歸瀬 剛 さん	北部地区連合/電機連合
3位	秋山 純一 さん	基幹労連

た。その他の賞品と参加賞については、能登半島地震被災地への支援のため、金沢地方の物品を中心に準備した。成績発表は泉水副議長のマイクで進められ、歓声あり笑いありの中、和やかな雰囲気の中で終了となった。結果は以下の通り。

予定の大阪・関西万博について地元地協ならではの報告がされた。会議後、全体懇親会では各地協の方とさまざまな情報交換が行われ、地協紹介では横浜地域連合を代表して秋山議長が挨拶を行った。

## コラム「るーぷ」

皆さん、こんにちは。副議長を仰せつかっております、J.P. 労組神奈川の泉水 義次と申します。連合運動は、湘南地域連合にて長年幹事を務めさせていただいておりましたが、今回は副議長という大役を仰せつかり身の引き締まる思いです。さて、私たちの郵政事業の現状とJ.P. 労組の取り組みについてご紹介させていただければと思います。日本郵政グループは民営化から17年が経ちました。当時の小泉総理が「郵政民営化をしたら国民生活はバラ色になる」と言いつつ、現状はユニバーサルサービスの提供を義務付けられた中、郵便物数はピークであった2001年の262億通から約半分の136億通に落ち込み、2021年10月からは土曜日の普通郵便配達も休止、送達日数の遅延、そして本年の10月から料金値上げ、とてもバラ色になったとは言えない状況です。そのような状況の中、私たちJ.P. 労組は「持続可能な日本郵政グループの将来像はどうか」として「事業と働き方をどのように変えれば組合員を守るのか」等について考え、私たちJ.P. 労組が主体的に改革に取り組んでいく必要がある、との考えのもと「J.P. 労組が考える事業ビジョン(案)」の策定や「将来ビジョン」の具体化に組合員を守るため取り組んでいます。厳しい環境下ですが組合員のために取り組んでまいります。また、地域連合に結集する仲間皆さんとともに連合の運動方針を実現するために取り組んでまいります。ともがなばりましょう!



副議長 泉水 義次

column "Loop"



横浜地域連合は横浜ビー・コルセアーズを応援しています